

詩を味わおう

今日は、子どもたちが書いた詩をいくつか紹介します。「言葉のしっぽ」という本から選びました。一つ一つ詳しく説明はしないので、心で感じてください。

* 全部で 16 の詩を紹介しましたが、ここでは紙面の関係でいくつか紹介させていただきます。

参考：「ことばのしっぽ」 読売新聞生活部監修

<p>かあさん</p> <p>うさぎとかめ</p> <p>いかめさんはえらいね</p> <p>いっしょうけんめい</p> <p>やすまずあるいたね</p> <p>でもうさぎさんもえらいよ</p> <p>だってちゃんと</p> <p>おひるねしたでしょ</p> <p>かなこがおひるねすると</p> <p>おかあさん</p> <p>すつごくほめてくれるもんね</p>	<p>うさぎとかめのおはなしで</p> <p>えらいね</p> <p>いっしょうけんめい</p> <p>あるいたね</p> <p>うさぎさんもえらいよ</p> <p>ちゃんと</p> <p>おひるねする</p>	<p>かあさんの息は 口先からだから 冷たいんだね ハリの息は 心からくるから あつたかいんだね</p>	<p>四年生</p> <p>大発見</p>
--	---	--	-----------------------

<p>四年生</p> <p>かぶとむし すずむし なかないけど かぶとむしは こころのなかで どすこいつて いるんだよ</p>	<p>四歳</p> <p>開く 目を開く 力一テンを開く 「おはよう」と口を開く 朝食の時 れいぞう」を開く 「行ってきます」と ドアを開く</p>	<p>目を開く 力一テンを開く 「おはよう」と口を開く 朝食の時 れいぞう」を開く 「行ってきます」と ドアを開く</p>
---	--	---

幸福とは
自分で見えるものではない
けど
他の人からは見えるのだ

中学二年生

ふとん

おかあさん
あぼくタイムマシンで
あしたにいくからね
いやあ
おやすみなさい

一年生